

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和4年5月20日発行

No.142



(上在郷:菜の花畑)

緑の季節になりました。日本を代表する唱歌には春を唄った曲がたくさんあります。『朧月夜』『春が来た』『故郷』等は中野市出身の高野辰之氏が作詞しており、信濃の景色が織り込まれています。朧月夜に描かれている春の夕暮れ時、里の灯、森の沈んだ色、畦道を歩く人、カエルの声、日暮れを告げるお寺の鐘。なんて美しいのでしょうか。この先何百年も歌い継がれ、変わることなく残ってほしい景色です。日常はまだ厳しい状況が続きそうです。美しい景色や歌を心にもって乗り越えていきたいです。

最後にかわいい俳句をひとつご紹介します。心が暖かくなりますように。

「菜の花の『ごはんをどうぞ』とおままごと」 詠み人知らず

小笠原 美雪

第34回南木曾町リニア中央新幹線対策協議会開催

理事長 藤原 義 則

3月30日町リニア対策協議会が開催されましたのでその概略について報告します。

1. 長野県内のトンネル工事における労働災害について

新聞等で報道されているように昨年11月と本年3月に労災事故が発生し、その原因と対策の報告がありました。労災事故であるので十分な対策が行われ、三たび労災が発生しないようにJR東海の監督体制の強化を願うものです。

2. 工事進捗状況について

*広瀬工区、尾越工区ともヤードの整備が進んでいます。広瀬工区は蘭川への仮橋は完成し非常口ヤードの造成と土砂ピットの建設が行われ、下流側の工事施工ヤードは資機材置き場、駐車場としてのヤードの整備を行っています。

*尾越のヤードは、右岸側ではヤードの整備と仮橋の橋台場所の整備が平行して行われています。左岸側非常口の立木は伐倒され大型網土嚢による護岸と橋台とヤードの整備が行われています。

3. 十二兼右岸道の状況及び町道、JR東海踏切改良について

*右岸道路の十二兼地区の概要説明と明かり部分にリニア工事のトンネル残土約4万㎡を埋め立てることや明かり部分は20万㎡を埋め立てること、木曾川に仮橋を架けること、トンネルは明かり部分から上下両側に掘り進めることが県から説明されました。これに伴い町道十二兼線と踏切改良がおこなわれることについて、JR東海から説明がありました。(将来の十二兼土捨て場へダンプトラックの通路狙いか?) 国道19号からの右折車両に対する安全確保に課題があります。4月～11月間通行止めとなります。

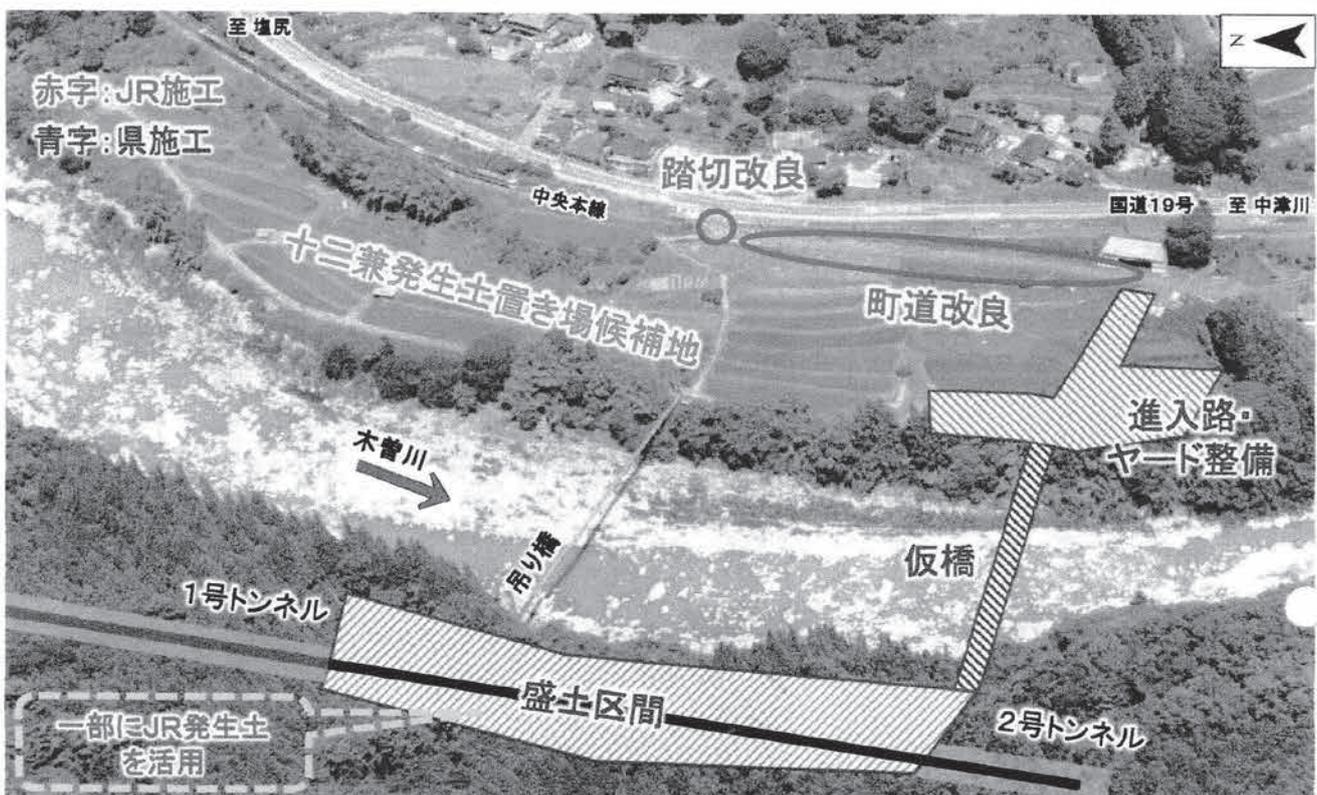
4. その他

*県の埋土、盛土条例制定に関するパブリックコメントに蛇抜けの多発地域、豪雨地帯、ハザードマップを十分配慮するように意見を出しました。

*対策協議会はいつも委員対JR東海、町の構図になっており委員会での議論が出来ていないのも問題と感じています。

3. 町道十二兼線道路改良・踏切改良について

2022.3.30
JR東海



妻籠町並み交流センター完成に寄せて

妻籠分館長 鈴木 竜 行

予期せぬ豪雨災害などの影響で、当初の予定よりは若干の延期となってしまいましたが、遂に妻籠町並み交流センターが完成しました。徹底的に木造建築にこだわったその建物は、強度を維持する為に特別な工法が施されており、その造形美たるや完全に見る者を圧倒する素晴らしい景観になっています。

今や観光遺産として世界規模での知名度を誇るこの妻籠宿に於いてまたひとつ自慢のできる場所が増えた事を大変うれしく思います。私ども妻籠分館は、この交流センターの管理運営を南木曾町から委託され、今後は、この建物を拠点として今まで通りの活動を継続していく事となるわけですが、これからも決してブレる事なく、継続は力なりの精神で活動を続けていきたいと思っています。

また、いずれはこの美しい建物を活かした妻籠分館ならではの、と言われるようなイベントなどもできればと思っています。

そしてまた、分館活動だけにとどまらず、妻籠地区の地域作りの拠点として住民のみなさまにおおいに利用していただき、活気あふれる場所となる事を願っております。

最後に今回の建設に対してご尽力して下さいましたすべてのみなさまに深く感謝を申し上げます。今後とも妻籠分館をよろしくお願い致します。



〈最初の妻籠公民館(現:博物館出口)〉



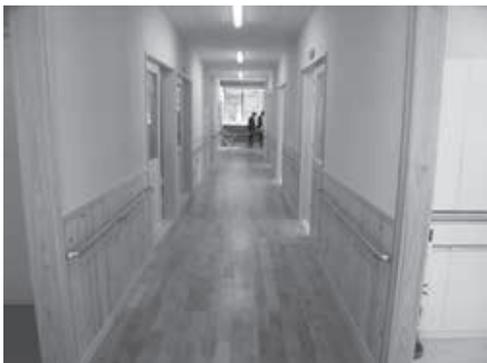
〈3月まで使用されていた妻籠分館〉



〈町並み交流センター見学会〉



〈妻籠町並み交流センター〉



脇道のこと ～春のお地藏様～

下町 磯村 琢 弥

妻籠には、使われなくなったり、崩れて通れなくなった道があります。そんなおそらく普段気に留めることのない「脇道」を、この場を借りて少しずつ紹介していきたいと思います。

8年ほど前、自宅周りの草刈りの範囲を確認するために、法務局で地図の写しをもらってきました。そこには地蔵沢沿いの道から枝分かれし、下町山側の竹藪に向かう道が記されていました。実際に見てみると、確かに竹藪に向かってそんな感じの道があります。早速、竹藪へ入ってみると道だけでなく、立派な石垣も残っていました。しかし地図はここまでしかありません。当時、失業保険をもらうために毎月ハローワークに通っていたので、帰りは法務局へ寄り、少しずつ範囲を広げていきました。

新しく手にした地図を見ると、この地蔵沢沿いから枝分かれした道はふれあい館横に出ていましたが、途中からは水路に使われていて歩くことはできませんでした。また、途中で軽便道へ向かって上がって行く分かれ道も描かれていますが、こちらは崩れています。この道は生活道路を渡れば残っていて、途中、雑草が生えすぎていて歩けない箇所がありますが、迂回して辿ってみるとコンクリート舗装の車道に出て枝分かれしています。真っすぐ行く道は軽便道を越えて山の鉄塔まで延びています。左へ行く道は途中までコンクリート舗装の道と重なっていて、その後は二本の黒いホースに沿って道が続いていき、地蔵沢沿いの道につながります。雑草が生えすぎて歩けない箇所からはさらに右へ分かれる道があり、校庭後ろから出ているコンクリートの小道とつながるのです。



〈地蔵沢沿いに建つ恋野地蔵堂〉

先ほどの道から地蔵沢に出て、沢沿いを上がって行くと、崩れすぎて道がわからなくなっていますが、嘉永元年のお墓が二基あり、お墓を通り過ぎて軽便道を渡ると、江戸時代に建造された大井水に出ます。そういえば僕が小学生の頃、軽便道沿いの営林署の社宅からまっすぐ本陣跡まで行けたような気がするのですが、覚えている方がいましたら教えてください。



〈寺下:延命地蔵堂〉



〈尾又:お地藏様〉

尾又地区では毎年4月24日に地区住民が集まってお参りをしています。



〈上から ふれあい館、観光案内所、槌屋、本陣〉

おひな様雑感

広報部 下枝 その子

今年もふれあい館にたくさんのおひな様が飾られた。コロナ禍の中静かな妻籠宿に彩を与えてくれた。今は五月人形が勇ましく並んでいる。私ごとだが、私の誕生予定日は5月5日だった。当然のごとく周囲は男の子を期待し祖父は鯉のぼりの旗竿まで用意した。難産の末翌日に生まれたのは女の子だった。皆の落胆ぶりを思うと辛いものがある。しかし、祖父は私を可愛がり翌年には小さな町で揃えられる一番立派な当時流行りの御殿付き七段飾りを買ってくれた。妻籠観光協会がおひな様を集め始めたとき引き取っていただいた。郷原さんの御殿が二つもある立派なおひな様と共に案内所に飾られている。私も手伝っているがどう飾っていたのか全く記憶がない。相方のしのぶさん頼りである。空の上から郷原さんは苦笑いしていることだろう。今年は若女将たちが手伝ってくれた。片付けるときも丁寧に一生懸命記憶にとどめるような姿が頼もしかった。

旗竿には後日譚があり、借家住まいの父の同僚に男子が生まれ、鯉のぼりをあげたはいいが毎朝悪ガキたちが「屋根より低いこいのぼり〜♪」と大声で歌うとのこと。件の旗竿を届けたという。旗竿も日の目を見たわけだ。

春の声を聞くと優しくった祖父や両親を思い出し、重い木箱を運び出し段飾りの準備をしていた義父の姿を思う。そして、おひな様飾りをはじめ、妻籠宿の伝統行事を守る観光協会の礎を築いてそよ風と共に旅立っていったさつきさんや郷原さんを思うのである。



【五月人形展示中】



令和4年度(公財)妻籠を愛する会事業計画

1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
- (6) 防災施設の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施(文化財防火デーほか)
- (8) 全国町並みゼミ等研修会への各役職員の参加・参画

2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「立場茶屋」(一石柘牧野家) 建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道沿線の景観整備・松枯れ対応
- (4) 所有建造物の維持管理・活用及び貸与等
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託・改修の推進

3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「四阿」(妻籠城址・白木改番所) の維持管理
- (2) 休息施設(ベンチ等) の維持補充
- (3) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (4) 道標・説明板の見直しと更新
- (5) 民俗資料の収集・公開・活用(農機具体験)

4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
- (2) 第55回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 第45回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曾に相応した文化の伝承と開発・研究

5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理(スナジ・西山・尾又)
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ・イロハモミジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
- (4) 妻籠城址の環境整備
- (5) 外来動植物の駆除

6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要なとする事業の受託および支援事業

- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠中学校周辺の管理

7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曾風景街道推進協議会との協働活動
- (2) 木曾街道連絡会の事業の推進
- (3) 関係団体との交流(国内外)
- (4) 南木曾町観光協会との協働活動

8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用

令和4年度 妻籠分館行事予定

・役員年度始め総会	3月20日(日)
・町並み交流センター開館式	4月9日(土)
・分館内整理・引っ越し	4月10日(日)
	17日(日)
・環境整備	7月17日(日)
・和智埜大祭準備手伝い	7月第3日曜日頃
・和智埜大祭子供神輿	7月23日(土)
・育成部行事(夏休み)	8月7日(日)
・環境整備	8月21日(日)
・敬老会お手伝い	9月第2日曜日頃
・環境整備	9月25日(日)
・区民運動会	10月9日(日)
・木曾郡公民館大会 (木曾町日義)	11月6日(日)
・しめ縄をつくる会	12月18日(日)
・町公民館大会	2月5日(日)
・分館交流スポーツ大会	2月26日(日)
・文化祭(前日準備含む)	3月4日(土)
・役員反省会	期日未定
*そば打ち講習会	月2回
*ソフトバレーボール	週2回
*二胡教室	月2回

【訃報】

長年にわたり副理事長を務められた鈴木省吾さんが2月急逝されました。

一石柘立場茶屋の名物管理人として特に外国人観光客に大人気でした。省吾さん!楽しい思い出をありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

宿 場 暦

- 2月 4日：スキルアップセミナー総合反省会
(博物館)
5日：第45回妻籠冬期大学講座(中止)
12日：第14回氷雪の灯まつり(中止)、
令和3年度第4回観光地点パラメータ調査
17日：魅力向上実証事業委員会(理事長)
18日：妻籠宿保存地区保存審議会(会館・理事長、
常務)、観協お雛様飾りつけ(ふれあい館)、
三役会
20日：広報「妻籠宿」141号発行
21日：統制委員会
22日：広域撮影
- 3月 2日：上下水道審議会(理事長)
3日：令和3年度元気づくり支援金現地調査
11日：南木曾町博物館協議会(理事長)、
信州の歴史的まちなみネットワーク役員会
(Web・理事長)
15日：ナショナルトラスト理事会(書面・理事長)、
撮影許可審議委員会
16日：三役会
17日：理事会、妻籠分館建設委員会
22日：統制委員会
24日：広報部会、長野放送撮影
29日：評議員会、妻籠宿案内人の会役員会
30日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会
(理事長・常務)
31日：撮影許可審議委員会
- 4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付
3日：倉科様祭礼(役員参拝のみ)
9日：妻籠町並み交流センター開館式
(理事長・常務)
12日：信越放送撮影
13日：日経BP撮影(～14日)
14日：木曾地域観光ガイド代表者会議(木曾町・
案内人の会)、ワラジャパントラベル撮影
15日：子安観音祭礼(役員参拝のみ)、三役会
20日：統制委員会、妻籠宿案内人の会役員会
25日：広報部会
26日：会計監査、木曾地域文化遺産活性化協議
会活性化委員会(欠席)
28日：評議員選定委員会



（おひな様片付け作業中）

統制委員会審議事項

- 2月21日
・道路占用許可標識の取替(関電:尾又) 1件
・町道中山道道路災害復旧工事(町:下り谷) 1件
・令和3年度重要文化財保存修理工事(教委:奥谷) 1件
・引込線新設(中電:上町生活道路) 1件
・変圧器新設及び低圧線撤去工事(中電:上町分館) 1件
・本柱・支線の撤去・新設等(中電:洞門付近) 1件
・低圧線新設(中電:大妻籠) 1件
・電柱移設(中電:下り谷) 1件
・店舗改築工事(尾又:個人) 1件
- 3月22日
・バス待合所屋根改修(町:妻籠橋) 1件
・筍伐採(関電:妻籠地区) 1件
・護岸ブロック撤去等(関電:尾又橋) 1件
・群状択伐(関電:妻籠地区) 8件
・護岸工事(県:恋野・第3P・大妻籠) 1件
・石積取外し復旧工事(渡島:個人) 1件
・ポリエチレン線カバー取付(中電:尾又橋) 1件
・支障木伐採(関電:吾妻橋) 1件
[その他]
・地蔵沢砂防堰堤対応方針(多治見砂防)
- 4月20日
・破風板当改修(中町:個人) 1件
・低圧線新設(中電:馬籠峠・軽便道) 2件
・塀壁工事(尾又:個人) 1件
・建物撤去、事務所及び倉庫新築(上在郷) 1件(保留)



〈寺下:延命地藏堂〉

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

一石柘立場茶屋だより

新緑の季節を迎え、馬籠峠はハイキング日和です。一石柘立場茶屋では、昨年度、町から委託された中山道ハイキングの魅力向上実証事業で古い農機具を整備し、ハイカーの方が体験できるようにしました。体験された方々にアンケートを実施しています。その一部をご紹介します。

〈縄織り体験〉

「足で踏んで機械を動かすのが難しかったが、縄ができていくのが面白かった」「簡単そうに見えるが、実際体験してみると力不足でなかなかうまくできず、びっくりした」



〈薪割り体験〉

「見るとやるとでは大違いということを実感。木の性質・割れやすい方向を見極めることを教えてもらい体験できた」「木の種類によって硬さが違うことを体験出来て良かった」



一石柘立場茶屋では縄織り機の他にも脱穀機・千歯こき・トウシなど懐かしい農機具を展示しています。休憩しながら見学してください。



〈アンケートに記入するハイカー〉

体験については、年末年始以外の立場茶屋が開放されているときはいつでも実施していますが、大勢の場合は事前に連絡をお願いいたします。
(愛する会事務局 TEL：0264-57-3513)

※一石柘の桜は今年もきれいでしたよ!

ふもとの桜と同じで、まだまだと思っているうちに例年よりも早く咲いてしまいました。

